

絵本の読み聞かせ実習

平城高教育コース2年

「絵本ギャラリー」に向け

奈良市朱雀2丁目の
県立平城高校（奥田秀
紀校長）の教育コース
2年生38人が11日、同
市高畑町の奈良教育大
の図書館「えほんのひ
ろば」で、絵本の読み
聞かせ演習を行った。

同大の横山真貴子教授
の講義後、絵本を朗読
し合った。

同コースの学習と8
月に参加の「絵本ギャ
ラリー in 奈良」に向
けた練習を兼ねた取り
組みで、毎年実施。

横山教授は「児童へ
の絵本読み聞かせの際
は、読み手が楽しむこ
とが大切」と説明。生
徒らを前に絵本「うん
こしりとり」の読み聞
かせを実演した。

実演は、横山教授の
問いかけに生徒が「う
んこ」と返答する参加
型で進行。次第に大き
な声が出るようにな
り、絵本の楽しさ、魅
力を実感していた。

その後、4人ずつの
グループに分かれ、一
人一人が館内で選んだ
絵本を持ち寄り、お互
いに読み聞かせを実
施。クラスメートの発
表に笑顔や真剣な視線
を向けていた。

幼稚園教諭を志望す
る喜田麻那美さん（16）
は「読み聞かせは、知
っている相手でも緊張
した。本を読み込んで
楽しんでもらえるよう
工夫したい」と話した。



横山教授（左）の読み聞かせを体験する生徒＝11日、奈良市高畑町の奈良教育大

2015年6月12日

奈良新聞掲載

